

ふるさとおもしろ統計学

経済成長

人間なら“病氣治療中”

今回は、経済を人間の体に例えて話を進めていくことにします。

第2次世界大戦の終結（1945年）を新生日本の誕生ととらえると、現在日本はまだ働き盛りの53歳。それでは、まず今日まで日本経済はどのような足取りで成長してきたのか振り返ってみましょう。

青少年期には、教室で担任の池田隼人先生から「所得倍増計画」の講義を受ける一方、グラフに見られるように、岩戸・いざなぎ景気など栄養を十分吸収し、27歳（72年）まで高度成長を続けます。偶然の一致か人間の体重も27歳まで増加を続けています。

その後、人間の成長が止まるのに時を同じくして、経済も安定成長期に突入。28歳（73年）、35歳（80年）での石油危機はありましたが、ほぼ順調に3～5%の成長を続けてきました。

ところが、不惑（40歳）を過ぎるころから、いくぶん経済の様子は変わってきたようです。必要以上の栄養を取りすぎ、ついに糖尿病（バブル経済）という恐ろしい病氣にかかってしまい、治療を続けながら今日を迎えています。

いまだにバブル後遺症が治らない日本経済。それでは、現在の景気を統計データで眺めてみましょう。

まず、われわれが買い物や旅行など日常使うお金の合計である最終消費支出です。平成9年度は8年度に比べ1.2%の減少を示しました。中には「われわれ1人ひとりの消費額なんて」と思われる方もいるかも知れませんが、これは全体では国内総支出の何と6割も占めるほど重要なものです。

次に、生産活動によって生み出される国内総生産（GDP）ですが、9

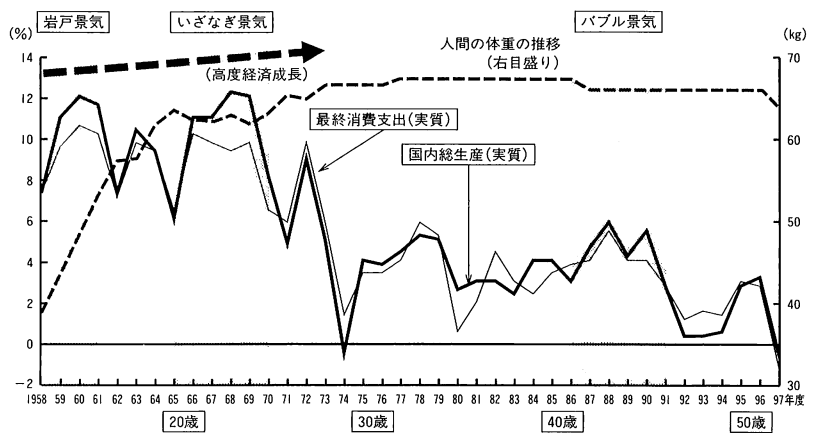
年度は0.7%の減少となっています。わずか0.7%ととらえる方もいるかも知れませんが、額にすると何と三兆四千億円です。

この国内総生産の伸び率は、別名経済成長率とも呼ばれます。言い換えればマイナス0.7%の経済成長です。これがマイナスになったのは、第1次石油ショック以来実に23年ぶり、本年度はさらにそれを下回るマイナス1.8%が予想されています。

このように、統計データの示す景気もまさに「低迷」しています。

バブル崩壊からこれまでの7年間、政府は景気回復のためにさまざまな治療を行ってきましたが、依然「特効薬」を見いだせないでいることとなります。これが本当の人間であれば「不幸にして…」ということになるのかも知れませんが、人間と経済の違いはいうまでもなく、人間の命に限りがあるのに対し経済は循環を繰り返す、構造を変えながら永遠に発展していくという点です。現在の状況を、経済白書が言うように「創造的発展の基礎固め」と認識し、各自がいましばらく雌伏することが必要ようです。（県統計課）

【消費支出・国内総生産対前年伸び率】



平成10年経済白書(経済企画庁), 国民栄養の現状(厚生省)より

※「ふるさとおもしろ統計学」は隔週金曜日、茨城新聞に掲載されています。

統計について思うこと

水府村企画財政課 主事 平山 聖

今思えば、それは本当にあつと言う間の半年間だった。

4月1日、統計調査の仕事と共に社会人としての第一歩を踏み出した私には、まず、「統計調査って何だ？具体的に何をすればいいんだ？」という疑問が生まれた。そして、その仕事の内容を徐々に理解していくと、今度は、統計調査の種類の高さや、統計調査員の人数の高さ（本村では65名）などに驚く毎日だった。同時に、驚きはしたものの、仕事の内容としては正直なところ「それほど難しいものではないな」という印象も受けた。しかし、現実はいくつ。

そんな事を考えているうちに、商工業実態基本調査という、私にとって初めての調査を迎えた。私はここで大きなダメージ（少し大袈裟な言い方も知れないが）を受けることになる。

この調査を頼んだのは、調査員歴30年を越えるベテランの調査員さんであった。仕事はすんなりと受けてくれたので、私は「いいスタートが切れたな」という感じを受け、説明会や調査自体も、多くの方々のご協力により何とか無事に終えることができた。しかし、ここで事件は起きた。それは調査票の審査のときだった。

調査票のチェックを進めていた私は、特に不明な点が多かった3件について、実際に会社を訪問して確かめることにし、まず一件目を訪ねた。

理由を話すと、資料を見ながら丁寧に確認して

くれたが、話しの途中で出てきた一言に私は大きなショックを受けた。

「役場もヒマだねえ、こんなことをわざわざ聞きにくるなんて。それに、これ（統計調査）をやったからといってねえ。」と、正確ではないがこんな感じのことだった。

「役所＝ヒマ、統計調査＝無意味」悲しいことだが、一般の人々の中には、公務員に、そして、統計調査にこのようなイメージを持つ人もいるのだ。

確かに調査をしたからといって、現在のような中小企業に対して厳しい現実がすぐには変わらない。しかし、その結果をうまく利用することにより、長い目で見ればいい方向に向かうはずである。また、少なくともそう思わなければこの仕事はやっていけないような気がする。そのためには、調査結果の、より有効な活用法や、それに伴う政策などをもっと考えていかなければならない。それによって、中小企業だけでなく、統計調査や公務員をとりまく環境も変わっていくのではないだろうか。

この統計調査の「目的」には次のようにある。

「中小商工業の経営実態を把握し、今後の中小商工業施策の基礎資料を得る」と。

【新着資料案内】  【新着資料案内】

この資料は、平成10年9月中旬に行政情報センター・統計資料コーナーに到着した主なものです。ご利用ください。
行政情報センター 本庁舎地下1階 TEL 029-221-8111 (内線 2238・2239)

行政資料名	発行所(者)	行政資料名	発行所(者)
中央省庁関係		県税決算調書 平成9年度	税 務 課
人口の労働力状態, 就業者の産業・職業H7国調貯蓄動向調査報告 平成9年	総務庁統計局	県税便覧 平成10年度	〃
私立学校の財務状況調査報告書 H7会計年度	〃	茨城県統計年鑑 平成9年	統 計 課
私立学校の財務状況調査報告書 H8会計年度	文部省大臣官房	廃棄物処理及び清掃に関する法律等一部改正	廃棄物対策課
国民衛生の動向 1998	〃	社会福祉施設等一覧 平成10年4月1日現在	社会福祉課
漁業・養殖業生産統計年報 平成8年	厚生統計協会	介護保健導入に係る県民及び事業所アンケート	高 齢 福 祉 課
漁業動態統計年報 平成8年	農林水産省統計情報部	国民年金事業年報 平成9年度	国民年金課
ポケット食品統計 平成9年度版	〃	感染症サーベイランス事業年報, 茨城県 平成8年	保 健 予 防 課
我が国産業の現状 1998年版	〃	特定事業の集積の促進に関する計画	商 工 政 策 課
毎月勤労統計調査年報 平成9年 地方調査	通商産業省大臣官房	蚕業研究所研究報告 第6号	蚕 業 研 究 所
毎月勤労統計調査年報 平成9年 全国調査	労 働 省	蚕業研究所年報 平成9年度	園 芸 研 究 所
労働組合基礎調査報告 平成9年	〃	農業研究所年報 平成9年度	農 業 研 究 所
茨城県関係		茨城県における生鮮食品流通の現況	園 芸 流 通 課
公益法人事務の手引	総 務 課	地方卸売市場年報 平成9年	〃
公益法人名簿 平成10年8月1日現在	〃	大洗港統計年報 平成9年	大洗港湾事務所
訟務年報, 茨城県 平成7・8年度	〃	教育便覧, 茨城 平成10年度	企 画 室
公営企業会計決算書, 茨城県 平成9年度	財 務 課	交通白書 平成9年	交 通 部
予算に関する説明書 平成10年度 ②	〃	県公営企業会計決算審査意見書 平成9年度	監 査 委 員
予算に関する説明書 平成10年度 ⑤	〃		

編 集 後 記

今月号の裏表紙は、統計グラフコンクールの知事賞受賞作品4点と全国コンクール特選作品2点(内1点は知事賞作品)を掲載しています。統計グラフコンクールは、統計の普及と統計教育の振興を図ることを目的に毎年実施されています。本県からは、8137点の応募があり、これは、5年連続日本一の応募点数です。また、県で選ばれ全国コンクールに出品された28点の内20点が入賞し、その内2点が特選に選ばれました。質量共に、高いレベルにあるこのコンクールにより、本県の「統計」がさらなる発展を遂げることが望まれます。(KM)

統計いばらき

1998.11 No.535

平成10年11月発行

編集兼発行/茨城県企画部統計課

茨城県統計協会

〒310-8555 水戸市三の丸1丁目5番38号

電 話 029-221-8111(内線)2651・2652

029-221-5505(直通)

FAX 029-228-0961

印刷所/富士オフセット印刷株式会社